

My Town  
わが街

My Friend  
わが友

Mari  
マリ  
CHRISTINE  
クリスティーヌ



私の片言の日本語が番組で  
笑いを取れることを知ったラ  
ジオ番組のディレクターの一  
人が、あるはずををしまし  
た。漢字がよく読めない私に  
ルビをふったメモを渡して  
「読みなさい」というので  
す。「次はカスガヤローさん  
の歌で……」。そのまま放送さ  
れてしまいました。「春日八  
郎」と書いてあったのです。

海好江さんでした。「その場  
にいないとはいえ、ベテラン  
歌手に対して失礼だし、笑い  
を取るにしてもやっつけていいこ  
とと悪いことがあるはずよ」。  
私に直接向けられた怒りでは  
ありませんでしたが、日本語  
を勉強中の人に間違ったこと  
を教えるのはよくないとディ  
レクターを怒ってくださいま  
した。でも、これがきっかけ  
になって、子どものいない好  
江さんはわが子のように私を



日本の下町に触れ  
た「豊島区要町で

9

## 要町

かわいがってくれて、日本の  
文化、礼儀、人との付き合い  
方を教えてくれました。

当時、好江さんは豊島区要  
町に住んでいましたが、近所  
の銭湯に連れて行ってくれた  
ことがありました。四歳まで  
原宿に住んでいて、父母と銭  
湯に行ったことはありません

が、その後海外で育った私は  
見知らぬ人と一緒にお風呂に  
入る経験は、物心がついてか  
らはありませんでした。とて  
も恥ずかしくてタオルを体中  
に巻いて湯船に入ろうとする  
と、好江さんに「そんなもの  
巻いてると、じろじろ人に見  
られるよ。とっちゃんなさ  
い」としかられました。

私としては見られるのが嫌  
だから巻いているのにと、お  
ろろしました。湯船から上  
がって体を洗おうとすると、  
今度は「先に隣のおばあちゃ  
んのお背中を流しておおあ  
げ」。私、この人には初め  
て会うのだけれど……と言っ  
と、「いいから、いいから」  
と。おばあちゃんは本当に喜  
んで、「じゃ、今度は私がお  
返しをしましょうね」と、私  
の背中を洗ってくれます。気  
持ちよかったですね。文字通  
りの裸の付き合い。好江さん  
もうれしそうに見えてくれ  
ました。「これが日本の下町  
なんだよ」と言いながら。  
(異文化コミュニケーション  
題字も)

|| 全10話

# 下町で裸の付き合い